

アグリワークポイント AGRIWORKPOINT



翌年に向けた準備を行いましょう

茶指導販売課 菊川



秋肥の施用

厳しい暑さが続く9月は、春・夏にかけての摘採により低下した樹勢を回復しつつ、翌年一番茶の摘採に向けて準備を行う時期になります。

例年、9月は台風の影響などにより天候が変わりやすい季節になりますので、気象情報をこまめに確認し管理作業の適期を逃さないようにしましょう。

秋肥は、摘採や整枝によって低下した樹勢を回復させるだけでなく、翌年一番茶の充実にも繋がります。適期に施肥を行い、茶樹に効率よく肥料成分を吸収させましょう。

使用する肥料…有機質肥料・配合肥料 など

時期…施肥効果を保つため、**①8月中～下旬頃**
②9月中～下旬頃の2回に分けて施用

※2回目の施用は、**1回目の施用から約1か月後**が目安

※速効性肥料や窒素成分の多い肥料を使用すると、冬期に再萌芽する恐れがあるため注意が必要です。

病害虫の防除

9月上旬～

①チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ

高温・乾燥が続くと活動が活発になります。長期予報では、昨年よりも気温が高くなることとが予想されていますので、発生状況に合わせて防除を行ってください。

②炭疽病

葉が雨に**10時間以上**濡れていると感染の原因になるとされています。

特にこの時期は、台風の影響などにより年間を通して雨の多い時期になりますので、茶園の様子に合わせて防除を行いますよう。

※防除を行う際は、希釈倍率などの使用基準を確認し、適正防除を行ってください。

また、早いところでは今月末ごろから秋冬番茶の摘採が始まりますので、各地区の防除規制や防除情報などに従い、安心・安全な摘採ができるように心がけましょう。